

新潟市口腔保健福祉センター年次報告（概要）  
（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

1 利用実績

(1) 急患診療

	診療日数	利用患者数	一日平均患者数
平成29年度通年	72日	769人	平均 10.4人
平常の休日	50日	340人	平均 6.8人
連休及び1日飛び休日	16日	205人	平均 12.8人
お盆（平日）	3日	55人	平均 18.3人
お盆（休日）	1日	26人	平均 26.0人
年末	1日	55人	平均 55.0人
年始	3日	88人	平均 29.3人

性別年齢別患者内訳			
	男	女	計
6歳未満	55	28	63
6～17歳	40	32	72
18～64歳	250	247	497
65歳以上	74	63	137
計			769

(人)

年間利用患者数は769人で前年とほぼ同程度であった。一日平均患者数は10.4人で、その内訳は、平常の休日では昨年の8.2人から6.8人に減少したものの、連休及び1日飛び休日は10.7人から12.8人に、お盆の休日は21.0人から26.0人に、年末は40.0人から55.0人に、年始は28.0人から29.3人に、いずれも増加した。年齢別内訳は、ほぼ例年通りであった。疾病別では、う蝕、歯周疾患、外傷の順が多かった。三次医療機関への紹介数は24件だった。

(2) 特別診療

	診療日数	半日診療回数	利用患者数	半日平均患者数
平成29年度通年	196日	245回	1688人	平均 6.9人

性別年齢別患者内訳	男	女	計
6歳未満	25	0	25
6～17歳	267	78	345
18～64歳	675	384	1059
65歳以上	104	155	259
計	1071	617	1688

(人)

障がい別患者内訳	(人)
知的障害	519
発達障害	502
精神疾患	39
神経難病	47
染色体異常	141
感覚障害	5
認知障害	100
四肢麻痺	332
その他	3

特別診療の年間のべ患者数は1688人で、前年の1566人と比べて増加し、前年比107%であった。年齢別患者数では、18歳～64歳が1059人で、前年の904人に比べて

117%増加した。疾患別のべ患者数は、例年同様う蝕と歯周疾患がほとんどであった。また、障がい別患者内訳は、知的障がい、発達障がいがほぼ同程度で多く、次いで四肢麻痺の割合が多かった。

往診（摂食嚥下評価）は、対象施設は介護老人保健施設「緑樹苑」・特別養老ホーム「黒埼の里」・特別養護老人ホーム「まっはま園」・特別養護老人ホーム「ぼんたい桜園」・介護老人保健施設「白根ヴィラガーデン」の5施設を対象とし、月2回往診を行った。年間のべ往診患者数は103人で、ほぼ前年並みであった。

## 2 利用料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

別紙参照

## 3 総括・自己評価

急患診療は、利用者数はほぼ前年と同じであったが、トラブルが5件発生した。今後の再発防止に努めていきたい。

特別診療は、常勤歯科医師の配置と診療日が増設され3年目となり、患者数も増加した。一方で、他医療機関の受診、介護デイサービスや放課後デイサービスなどの福祉サービスの利用で、希望する曜日や予約時間が集中する傾向は前年同様で、予約に偏りが生じやすい状況である。今後、利用者のニーズに応えながら、予約を工夫して必要がある。さらに、二次医療機関として求められる、一次医療機関、三次医療機関との連携は、常勤歯科医師の配置により、以前に比べてスムーズに行われるようになってきている。センターの役割に鑑み今後もより一層連携体制の構築をしていきたい。

「高齢者福祉施設・障がい者福祉施設に対する歯科保健事業」の口腔健診・研修事業の実施件数及び実施数は14件122人で、前年の16件152人に比べて減少した。本事業の実施件数は年々減少傾向にあり、今後の対象施設の検討が必要である。口腔ケア研修事業の実施件数および実施者数は52件802人で、実施施設数は前年とほぼ同じであったが、実施人数は前年の693人に比べて増加した。本事業に対しては、実施予定数上回る65施設から応募があり、例年通り高いニーズが認められた。

平成30年2月1日に「新潟市口腔保健福祉センター健診・研修関係業務調整会議」を開催し、障がい者・高齢者関係施設関連事業の今年度の活動報告と、今後の取り組みについて意見交換を行った。平成30年2月15日に「歯科口腔保健検討会議」を開催し、今年度の活動報告と新潟市口腔保健福祉センターの今後についてと歯科口腔保健に関する意見交換を行った。